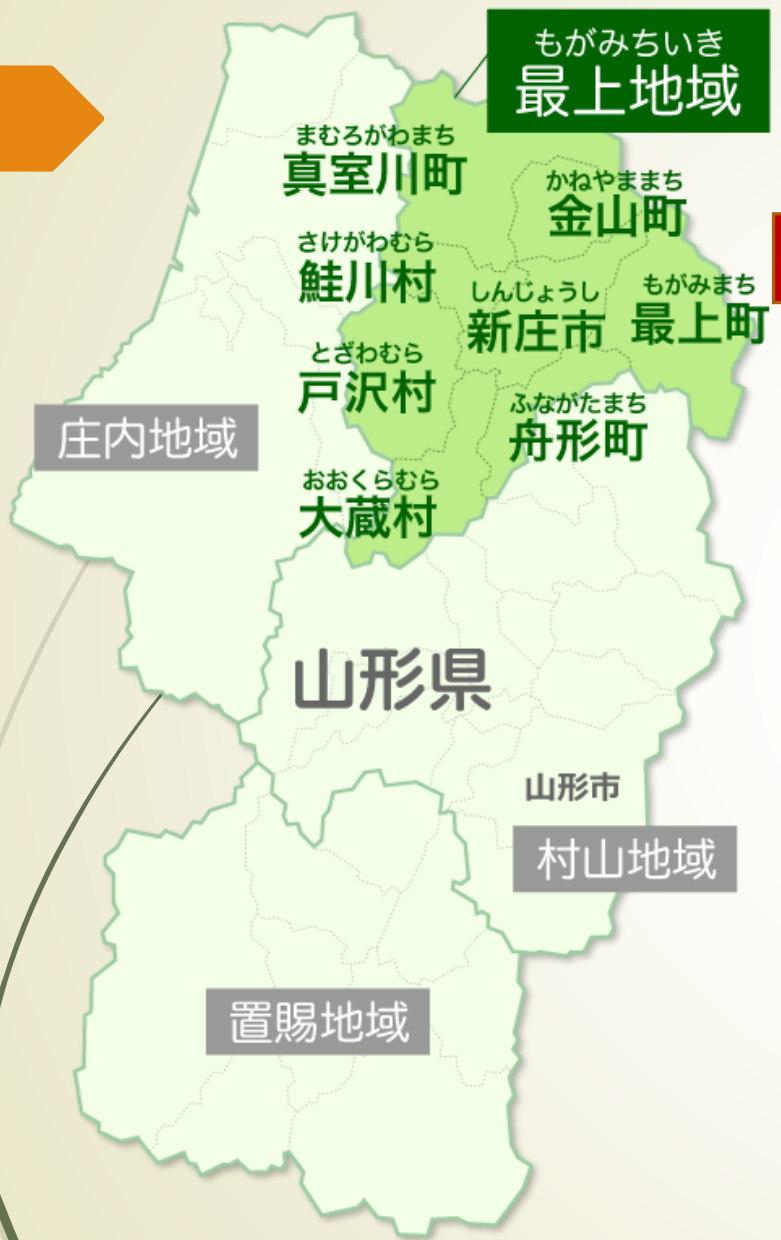


自ら判断し行動できる 子どもを育てる安全教育の推進

▶ 山形県新庄市立升形小学校

▶ 五十嵐 登











研究の趣旨

- 大規模な災害や不審者犯罪、重大交通事故



- 自然災害や事件・事故に関する正しい知識や技能を身に付けることが必要



- 「自ら判断し行動できる子どもを育てる」
校長として果たすべき役割や指導の在り方

研究の概要



研究計画

(1) 1年次（令和2年度）

- ① 研究計画の立案：研究方針・テーマ・研究内容の設定
- ② 安全教育の取組状況調査
- ③ 取組状況調査の結果分析と考察
- ④ 課題解決に向けた実践事例の収集

(2) 2年次（令和3年度）

- ① 課題解決に向けた各校における実践
- ② 実践事例の集約と今後の実践のあり方の検討

(3) 3年次（令和4年度）

- ① 実践に基づく成果と課題の集約
- ② 研究のまとめ

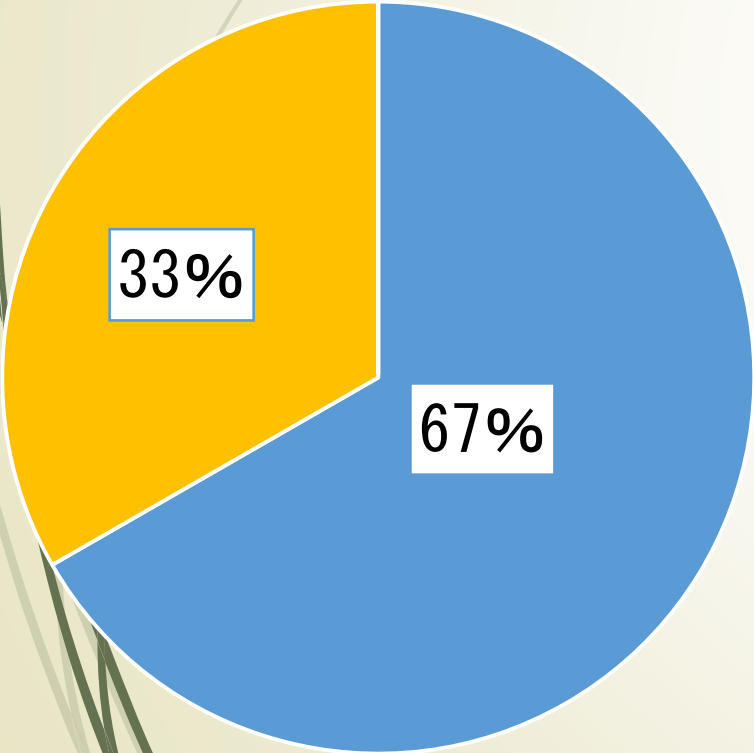


取組状況調査結果

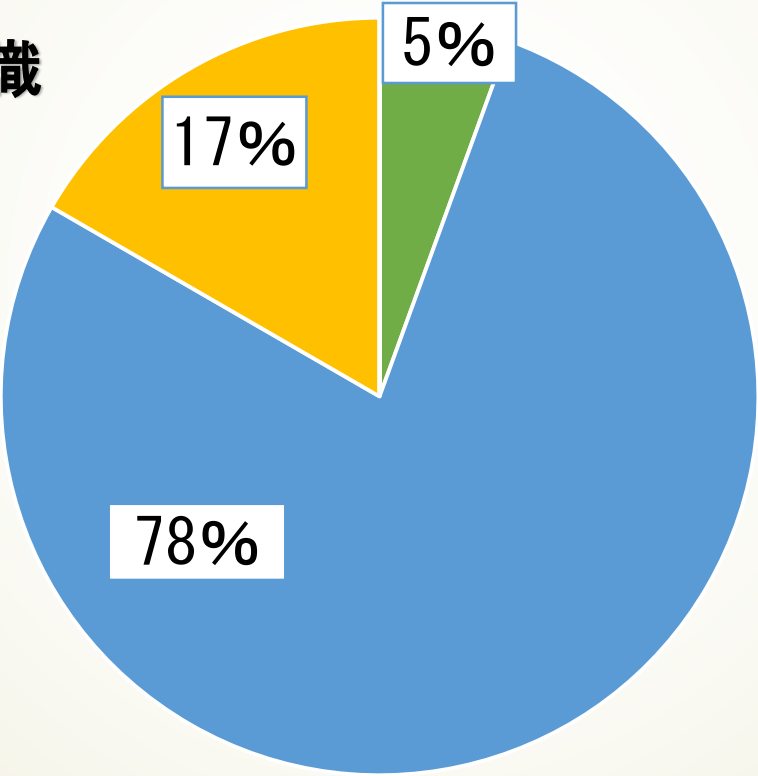
- 大いに高まっている
- まずまず高まっている
- あまり高まっていない
- 高まっていない

児童の実態

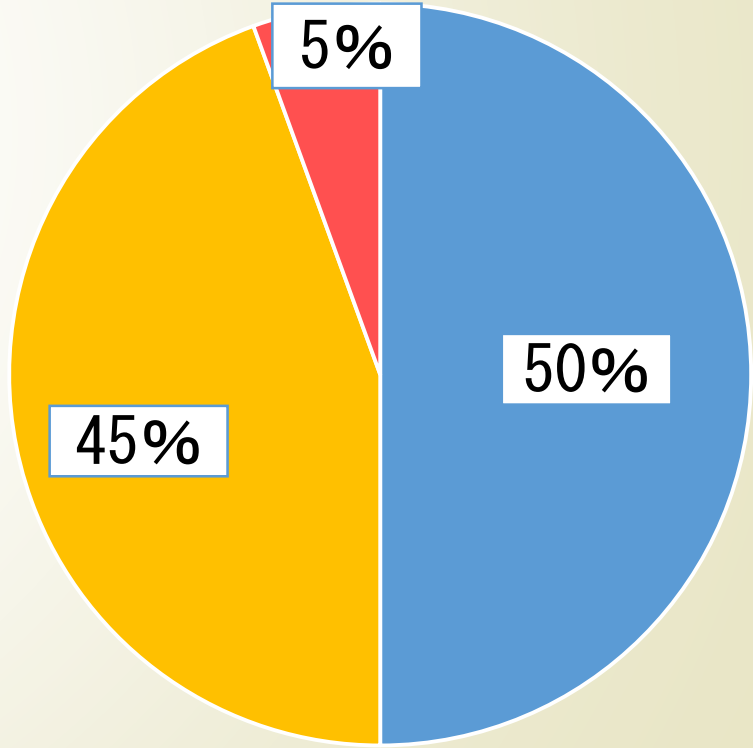
児童の生活安全に関する意識



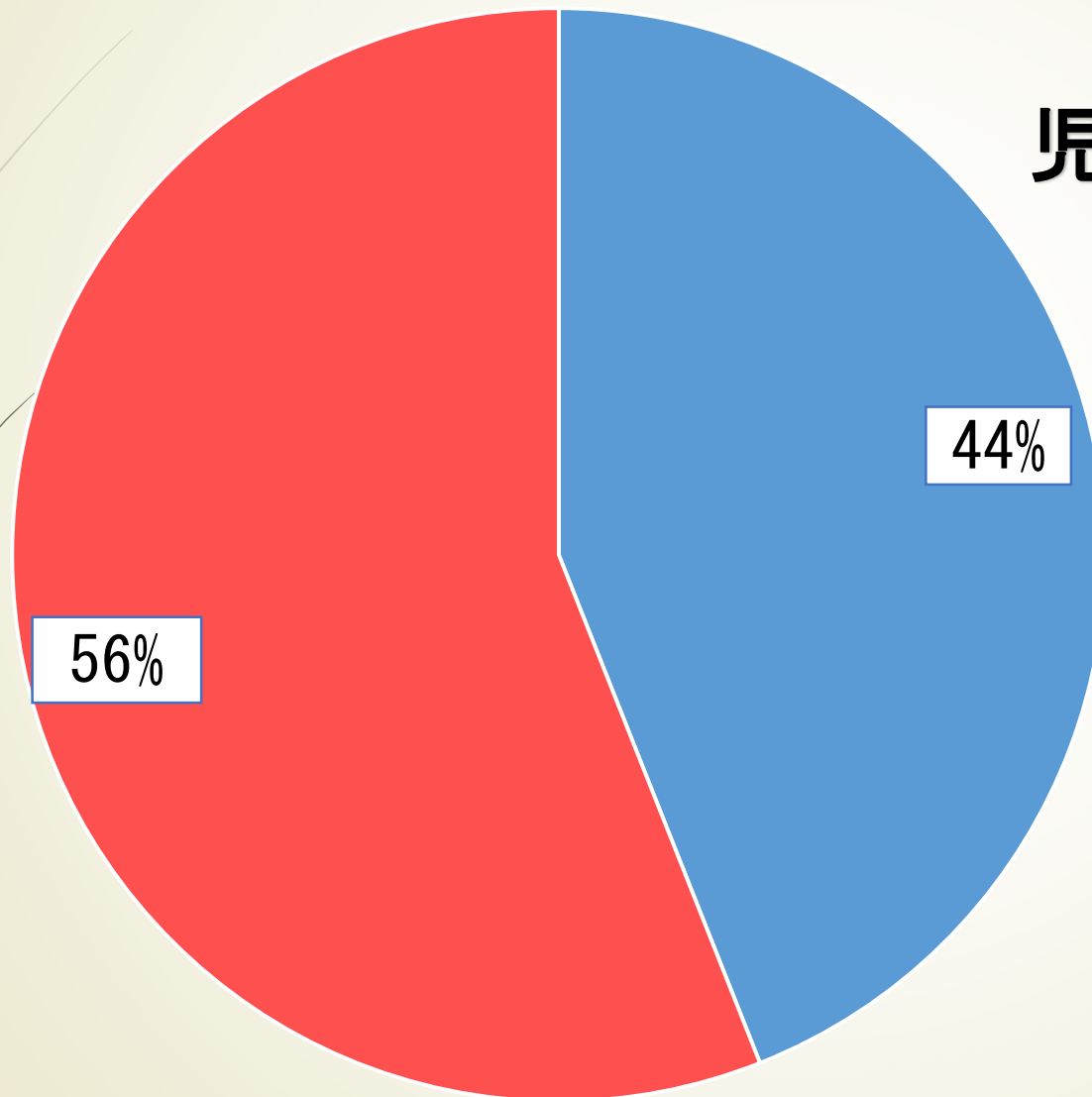
児童の交通安全に関する意識



児童の災害安全に関する意識



児童主体の活動状況



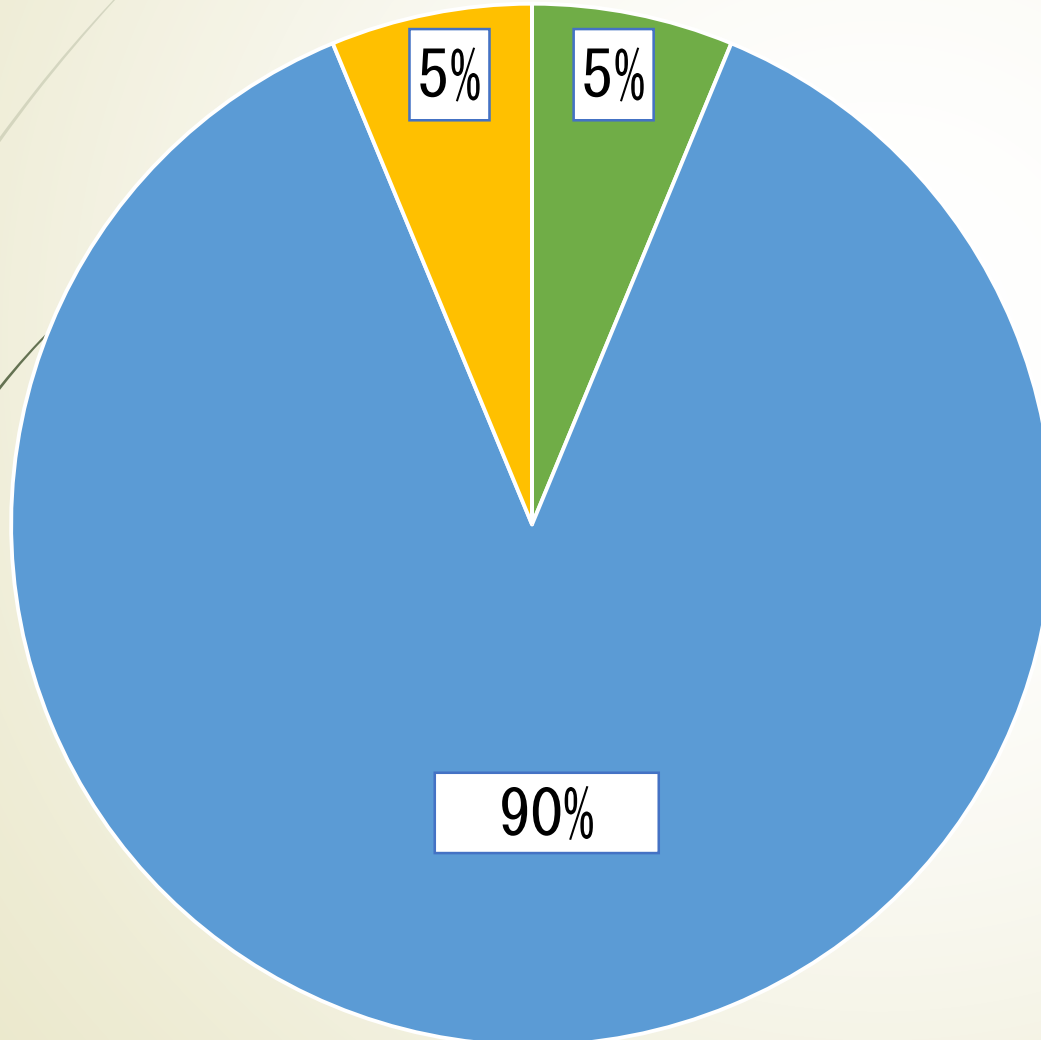
児童主体の活動

- 行っている
- 行っていない

多くの時間を要
するので・・・

教職員の意識

教職員の安全教育についての意識

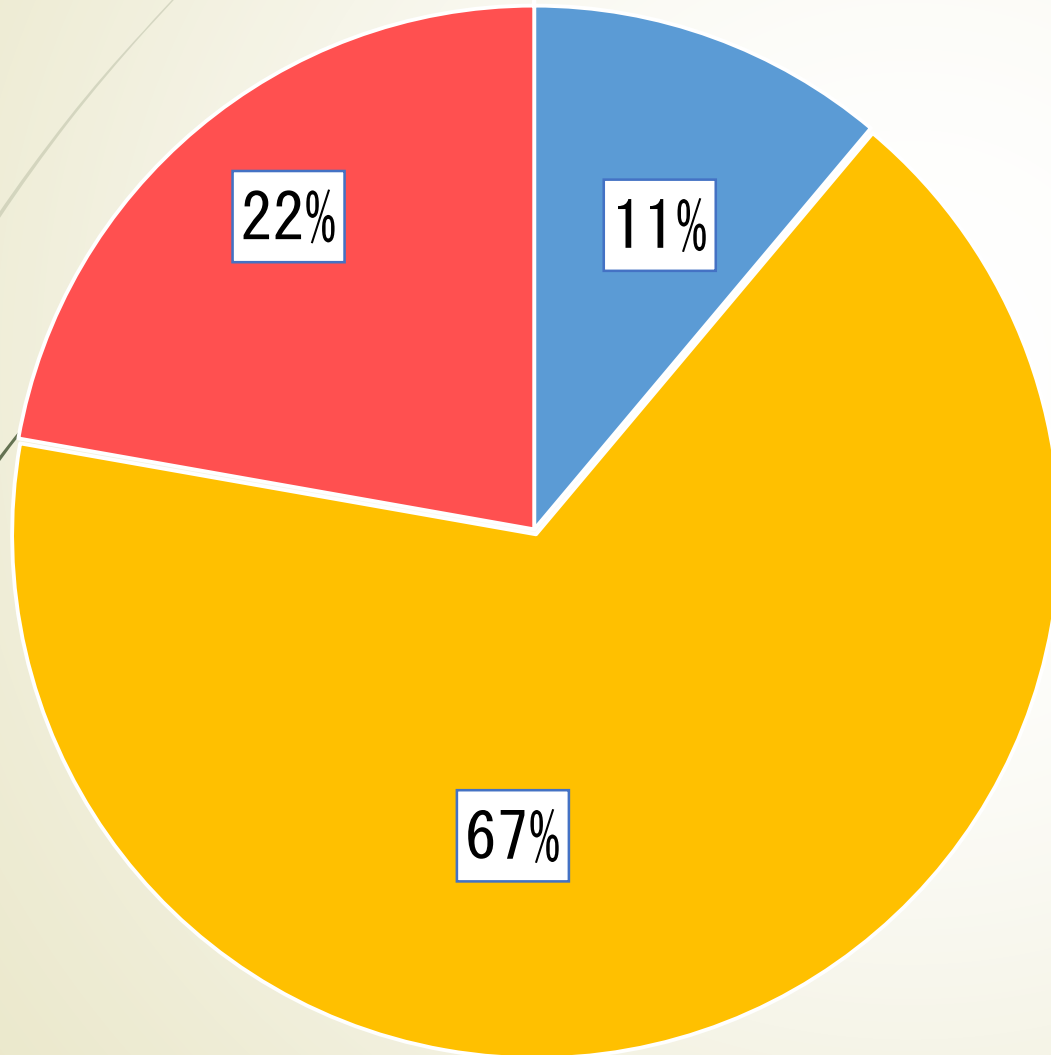


- 大いに高まっている
- まずまず高まっている
- あまり高まっていない
- 高まっていない

一過性？
マンネリ化？

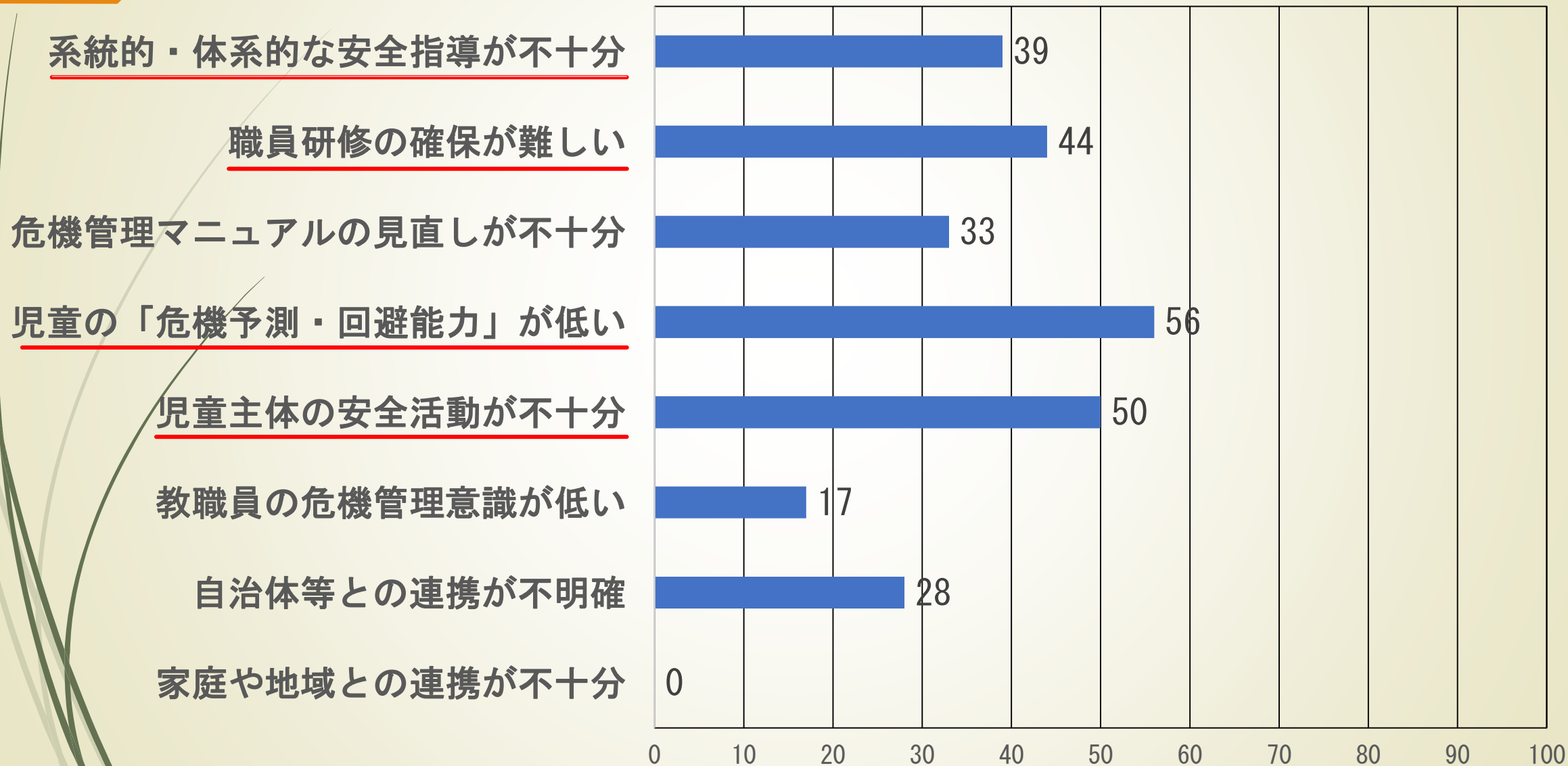
教科横断的な取組

カリキュラム・マネジメントの現状



- よく行われている
- まずまず行われている
- あまり行われていない
- 行われていない

安全・防災教育を進める上での課題（18校）



研究のねらい

「自ら判断し行動できる子どもを育てる視点に立ち、安全教育を推進するための校長の果たすべき役割と指導の在り方について探る。」

研究の内容

- ①教科等横断的な取組を整理し、カリキュラム・マネジメントによる系統的・体系的な指導を展開する。
- ②職員研修の充実と、学校・家庭・地域・関係機関等の連携による安全教育を行う。
- ③子ども主体の活動を通して、自らの命を守る安全教育を実践する。

研究の実際 1

カリキュラム・マネジメント
により安全教育を推進した実
践例

令和3年度 学校目標の具現化をめざす「カリキュラム・マネジメントプラン」

<p>1. 目標1〔重点〕 主体的に課題に取り組み、友達とかかわりの中で自らの考えを構築し、根拠を示しながら伝え合うことができる力を育てる。 めざす子ども像：課題解決のために、自分の意見や考えを積極的に発信する子供（学びに向かう力・人間性等） 根拠を示して理由を添えて伝える子供（思考力・判断力・表現力）</p> <p>達成のための視点 ①ICT機器を活用した探究的な学びへの授業改善 ②教科等横断的な視点での表現力育成 ③特別支援教育、個に応じたきめ細かな指導の充実</p>	<p>1. 目標2 相手の立場や気持ちを察し、思いやりの心で接したり、自らの言動を律したりすることができる力を育てる。 めざす子ども像：関わり方や嫌なことがあるときは、言葉で伝えることができる子供（知識・技能） きまりを守り、相手の立場を考慮して行動する子供（思考力・判断力・表現力）</p> <p>達成のための視点 ①いじめの防止の教育の推進（あいさつ運動、道徳の授業、いのちの講話・読書） ②豊かな子供理解に基づき、子ども自身による問題解決の支援 ③特別活動の充実による自己肯定感（自尊感情）の醸成</p>	<p>1. 目標3 基本的な生活習慣を身につけ、安全に気を付けながら、体力や運動技能の向上に根拠強く取り組む力を育てる。 めざす子ども像：メディアに依存しない基本的な生活習慣を身につけ、健康で安全に生活できる子供（知識・技能） 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供（学びに向かう力・人間性等）</p> <p>達成のための視点 ①家庭学習と家庭学習を位置付けメディアに依存しない生活習慣づくり ②個々の目標達成に向けた工夫づくり、運動能力の向上 ③基本的な運動行動の習得と応用能力の育成</p>
<p>2. 現状と課題 - 自らの考えを広げたり深めたりすることに夢中になって学ぶ姿が増えている。 - 相手の意図して伝える力が弱い傾向にある。</p>	<p>2. 現状と課題 - 相手の意図で、元気に活動する。自分らしさを自分のよさに自信が持たない。</p>	<p>2. 現状と課題 - 教科体育の時間を減らしている。テレビやゲームの時間のコントロールに課題。持久性が足りない。</p>
<p>3. 課題解決のための取組 - 児童に「はたかな一歩いてみたい」というチャレンジ意欲を持たせる。（課題・アウプット型、コンパクト&インパクト） - 異なった学び合う児童の姿を生み出す工夫を行う。（単元構成の工夫、思考スキル・思考ツールの活用） - 振り返りの場を工夫する。（4つの視点、プラスの評価問題、「読み」を定めた発表）</p>	<p>3. 課題解決のための取組 - それぞれの校内行事に合わせ、道徳や特別活動を核として児童の心を育てる。 - ゴールの姿（3月の姿）を確立し、PDCAを繰り返しながら成長を実現させていく。 - ①の分析と共有（発表・保護者）をばか。</p>	<p>3. 課題解決のための取組 - 年4回（7・9・12・2月、授業参観月）に生活力調査を実施し、調査結果を保護者と共有し、改善を図る。 - 年間体育と縦割り班を活用した運動の促進、短いスキルの活用し、体力や運動能力の向上に努める。 - 年間を通じた安全教育活動を学生ごとに設定する。（6リマネ作成時、年4回）</p>

学校カリキュラム・マネジメント表

<p>○ 視察や考えを積極的に発信する子供</p>	<p>○ 課題解決のために、自分の意見を積極的に発信する子供</p>	<p>○ 関わり方や嫌なことがあるときは、言葉で伝えることができる子供</p>	<p>○ 思いやりの心で接したり、相手の立場を考慮して行動する子供</p>	<p>○ 基本的な生活習慣を身につけ、健康で安全に生活できる子供</p>	<p>○ 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供</p>
<p>目標達成のためのカリキュラム作成 年間8回4時間授業とし、2時間程度の授業研修を行う。 大きな年間カリキュラムの構成（4/19） カリキュラム作成①教育活動計画書作成①（4/19 4/30）</p>	<p>成長前期 友達に自分の考えを分かるように伝える授業作り - 進め合う、聞き合う授業作り - 相手意識や目的意識を持たせた授業作り ○事前研修（研究主任、マスター教員） ○ブロック交流（授業参観） ○ブロック交流（授業参観）</p>	<p>成長中期 高みを目指し、思考力を高める授業作り - 進め合う、聞き合う授業作り - 相手意識や目的意識を持たせた授業作り ○事前研修（研究主任、マスター教員） ○ブロック交流（授業参観） ○活用問題の取り組み ○評価の集約、成果と課題の提示</p>	<p>成長後期 活用問題等の取り組みから、自分の高みを実現できる授業作り ○事前研修（研究主任、マスター教員） ○活用問題への取り組み ○振り返り活動の充実 ○単元発表問題</p>	<p>研究のまとめ作成・委員会（成果と次年度の方向性）</p>	<p>研究のまとめ作成・委員会（成果と次年度の方向性）</p>
<p>授業研究会による検証計画 校内研究の内容確認・共有 発表公開（随時）</p>	<p>授業研究会①16日 計画期間①30日 特別支援教育研修2日</p>	<p>授業研究会②12日</p>	<p>授業研究会③12日</p>	<p>授業研究会④3日</p>	<p>授業研究会⑤3日</p>
<p>評価 NRT</p>	<p>NRT結果分析研修 NRT結果分析研修（14日）</p>	<p>NRT結果分析研修 NRT結果分析研修（14日）</p>	<p>NRT結果分析研修 NRT結果分析研修（14日）</p>	<p>NRT結果分析研修 NRT結果分析研修（14日）</p>	<p>NRT結果分析研修 NRT結果分析研修（14日）</p>
<p>目標達成のための重点活動と進捗 1年生を迎える会・運動会 ○1年生を思い、導く雰囲気（思いやり 相互理解） ○協力し合う集団（友情、信頼）</p>	<p>校外学習・集団宿泊学習・修学旅行 ○協力し合う集団（友情、信頼 集団生活の充実） いのちを守る月間 4項目重点指導 道徳授業の相互参観</p>	<p>学習委員会 ○協力し合う集団（友情、信頼 努力と強い意志）</p>	<p>心を育む給食週間・6年生を送る会・卒業式 ○感謝の気持ちを表現できる子供（感謝、希望と勇気）</p>	<p>心を育む給食週間 6年生を送る会 卒業式</p>	<p>心を育む給食週間 6年生を送る会 卒業式</p>
<p>目標達成のための重点項目 安全学習（相互参観）</p>	<p>安全学習（相互参観）</p>	<p>安全学習（相互参観）</p>	<p>安全学習（相互参観）</p>	<p>安全学習（相互参観）</p>	<p>安全学習（相互参観）</p>

経営の重点③に安全に関する内容を入れる。

<p>○ 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供</p>	<p>○ 基本的な生活習慣を身につけ、健康で安全に生活できる子供</p>	<p>○ 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供</p>	<p>○ 基本的な生活習慣を身につけ、健康で安全に生活できる子供</p>	<p>○ 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供</p>	<p>○ 基本的な生活習慣を身につけ、健康で安全に生活できる子供</p>
<p>目標達成のための重点項目 安全学習（相互参観）</p>	<p>安全学習（相互参観）</p>	<p>安全学習（相互参観）</p>	<p>安全学習（相互参観）</p>	<p>安全学習（相互参観）</p>	<p>安全学習（相互参観）</p>
<p>生活力向上 - 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供</p>	<p>生活力向上 - 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供</p>	<p>生活力向上 - 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供</p>	<p>生活力向上 - 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供</p>	<p>生活力向上 - 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供</p>	<p>生活力向上 - 自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根拠強く運動に取り組む子供</p>
<p>重点目標① 年度当初、「学習のきまり」を提示し指導。家庭学習や自学の初期指導を一齐に行う。8月には、マスター教員が研究発表を行い、本校の授業スタイルについて発表。今年度から加わった団体の授業発表も実施。</p>	<p>重点目標② 新年度が中心となり、あいさつ運動をスタートさせ運動に繋いでいる。6月には、「いのちを守る月間」の取り組みとして、道徳の授業参観、「いのちの講話」をスタートさせた。</p>	<p>重点目標③ 4月授業参観時に「学び」をテーマとした随時の教育講演会を実施。多くの保護者が参加した。今年度から各学級毎の安全指導計画を作成、それぞれに計画的な安全指導を実施した。</p>	<p>重点目標④ 8月の避難訓練では、初めて2次避難を実施。9月の年間マラソンに引き続き、10月から始めるSSATを軌道に乗せ、体力の向上を目指していく。</p>	<p>重点目標⑤ 10月の避難訓練では、初めて2次避難を実施。9月の年間マラソンに引き続き、10月から始めるSSATを軌道に乗せ、体力の向上を目指していく。</p>	<p>重点目標⑥ 10月の避難訓練では、初めて2次避難を実施。9月の年間マラソンに引き続き、10月から始めるSSATを軌道に乗せ、体力の向上を目指していく。</p>
<p>【カリキュラム評価】</p>	<p>【カリキュラム評価】</p>	<p>【カリキュラム評価】</p>	<p>【カリキュラム評価】</p>	<p>【カリキュラム評価】</p>	<p>【カリキュラム評価】</p>
<p>特色ある教育活動 食育 「おいしい鮭川採り隊」○さのこ栽培・料理(3年) ○鮭のウライ魚・解体・料理(4年) ○伝承野菜栽培・料理(5年) ○鮭の卵・稚魚観察飼育、稚魚放流、新切り産(5・6年) 「1日だけの鮭小レストラン」(9月、全校) 「水の子の日交流給食」(10月、2月) 「なし畑作り」(1月、2年)</p>	<p>伝承芸術学習 「羽根紙折」(3年) 「夏の下田川えり」(4年) 「鮭川にも歌謡隊」(5年) 「清流だけがわが家」(6年) 外部講師(各団体の保存会)を招き、年間10〜15時間程度取り組む。学習委員会を成果発表の場とする。</p>	<p>外国語 低学年10時間(数量)で実施。中学校と連携、中学校の英語教師、6年外国語科MTとして参加。小3から中3まで7年間を見越したCAN-DOリストを活用していく。英検J受験(5年ブロンズ、6年シルバー)中3英検3級合格60%</p>	<p>外国語 低学年10時間(数量)で実施。中学校と連携、中学校の英語教師、6年外国語科MTとして参加。小3から中3まで7年間を見越したCAN-DOリストを活用していく。英検J受験(5年ブロンズ、6年シルバー)中3英検3級合格60%</p>	<p>外国語 低学年10時間(数量)で実施。中学校と連携、中学校の英語教師、6年外国語科MTとして参加。小3から中3まで7年間を見越したCAN-DOリストを活用していく。英検J受験(5年ブロンズ、6年シルバー)中3英検3級合格60%</p>	<p>外国語 低学年10時間(数量)で実施。中学校と連携、中学校の英語教師、6年外国語科MTとして参加。小3から中3まで7年間を見越したCAN-DOリストを活用していく。英検J受験(5年ブロンズ、6年シルバー)中3英検3級合格60%</p>

年間予定表に安全教育に関する活動を位置付ける

学校カリキュラム・マネジメント表（抜粋）

月	4	5	6
<p>重点3</p> <p>○メディアに依存しない基本的な生活習慣をつくり、健康で安全に生活できる子ども</p> <p>○自らの体力の状況を把握し、その向上をめざし根気強く運動に取り組む子ども</p>	<p>目標達成のために重点項目</p>	<p>安全な登校 登下校指導 交通安全教室</p>	<p>安全な休み時間の過ごし方 避難訓練 児童とともに行う安全点検 不審者対応訓練・講話</p>
	<p>毎月1日：安全の日（安全点検、登校班長会、いのちの講話）</p>		
	<p>生活リズム調査 メディアとの付き合い方</p>	<p>チャレンジタイムと家庭学習のつながり 家庭学習の手引き配布 週末本の持ち帰り 早起きは3文の得</p>	<p>生活リズム調査 自学強化週間と学習計画表の取組</p>
<p>1日ゲーム30分以内、メディア2時間以内</p>			
<p>体力向上</p>	<p>身体計測 健康診断</p>	<p>運動会</p>	<p>スポーツテスト</p>
<p>毎日の昼休み設定、運動遊びの奨励</p>			

安全に関する主な活動予定

経営の重点③に安全に関する内容を入れる。

学年の安全教育計画の作成

令和3年度 学年の安全教育計画 【 2 】 年

基本的避難行動の習得と危機回避能力の育成～自分のいのちは自分で守る～

ねらい

- (1) 自然災害や事故、事件等の危険性を理解し、安全で安心な生活を実現するために進んでルールを守るなど、必要な知識や技能を身につける。(知識・技能)
- (2) 日常生活における安全の状況を適切に判断し、進んで安全な行動ができるようにする。(思考・判断・表現)
- (3) 安全に関する課題に関心を持ち、主体的に自他の安全な生活を実現しようとする態度を身に付ける。(学びに向かう力・人間性等)

【実態1】学校のルールを理解し、概ね守ることができる。



【実態2】経験のないことに対しては、適切な判断ができない。

学年でめざす子供の姿

観点(知識・技能)

安全で安心な生活実現のため、進んでルールを守るなどの必要な習慣を身につけるとともに、自然災害などに対する適切な行動や危険を回避する行動などができるようにする。

1学期	4月	5月	6月	7月・8月	9月
教科 総合的な 学習	春だ、きょうから2年生(生活) ・身近な地域を歩く際、安全に気を付けて行動する。	ときどきわくわく町探検(生活) ・身近な地域を歩く際、安全に気を付けて行動する。			ときどきわくわく町探検(生活) ・グループごとに、学校の回りの危険を点検する。
道徳			おにいちゃん、しっかり(節度、節制)	水の広場(善悪の判断)	
学級活動		・安全な避難の約束	・校外学習時の安全 →不審な人が来たら	・プールでの約束 ・着衣泳学	・地震がきたら
学校行事 研修等	交通安全教室 感染症予防研修	避難訓練① 熱中症予防研修	修学旅行(6年) 校外学習 小体連陸上(5,6) チョボラ点検①	避難訓練② 宿泊学習(5年) 心肺蘇生法研修 避難袋使用研修 危険回避の講話(青少年指導担当)	避難訓練③

子供の様子・良くなっている点・課題

避難訓練:めあてをはっきりさせて事前指導を行ったことで、基本的な避難の仕方が理解できた。不審者対応:学級活動の予定だったが、青少年指導担当による講話が計画されたため変更した。しかし、話を聞くだけだったので不十分と感じた。再度学活で指導するか検討。生活科:身近な地域を全員で歩きながら危険箇所を確認した。自分たちで調べるには生活経験が足りず、かえって危険だと思われた。9月に、グループでの危険箇所点検を実施した。

2学期	10月	11月	12月	1月	2・3月
教科 総合的な 学習	動く、わたしのおもちゃ(生活) ・安全に配慮しながら必要な道具を適切に使う。			まどのあるたてもの(図工) ・カッターナイフを安全に使えるようになる。	
道徳					たからものなあと(生命の尊さ) ころきちのバイオリン(自然への畏敬～震災)
学級活動			冬の危険と遊びの約束		
学校行事 研修等	チョボラ点検②	避難訓練④	危険箇所点検	避難訓練⑤	チョボラ点検③

子供の様子・良くなっている点・課題

- ・安全で安心な生活をおくするために、進んでルールを守ろうという気持ちが増えており、そのために必要な習慣も身につけてきた。
- ・朝の会で、係が毎日のめあてを提示するとともに、帰りの会では「解決したいこと」を出し合って、自分たちで生活を向上させてきた。ルールが守られていない時には、互いに声をかけあうことが自然にできる。
- ・学活では、電子ボードを使って自然災害や事故の恐ろしさを視覚的に伝え、自分の命を守ることを最優先に考える感覚を身に付けてきた。

評価(年度末)

1	年間を通して、計画的な安全教育を行うことができたか。	5	4	2	1
2	教科横断的な視点を持ち、内容を関連させることで、学びを深めることができたか。 例)社会と校外学習 避難訓練と学級活動 理科と自然災害	5	4	2	1
3	子供が考え、判断・表現する場面のある安全学習を行うことができたか。	5	4	2	1
4	学年のめざす子供の姿に近づけることができたか。	5	4	2	1
成果	・生活科「まちたんけん」の前に、グループごとに危険箇所を探す実地歩行を行うことができた。「安全のための工夫」も視点に盛り込んだことで、身の回りの安全の状況を適切に判断するよい経験になった。デジタルカメラは、学級全体での共有に効果的だった。				
課題	・生活科は、実際に活動しながら安全についての課題を解決していくことができる教科だと感じた。半面、教科としてのねらいは他にもたくさんあり、単元の中で整理し、年間を通した見直しをもつことが大切だったと反省している。				

具体的な実践事例 1 地域探検と安全教育





気づいていますか



かん発見！ グループ点けん地図

きけんだと かんじたばしょ
 あんぜんの ための くふう、まもってくれるもの



具体的実践事例2 理科と防災学習



具体的な実践事例 3

避難訓練と学級活動



事例1, 2, 3における校長としてののかかわり

カリキュラム・マネジメントを推進するにあたり外部講師を招聘し研修会を開くこと

授業のねらいや単元の位置づけなど、安全教育について担任と情報交換すること

子どもたちの様子を見取り、成果を確認し、授業記録を全職員に配布することで意欲を高めること

具体的な実践事例4 いのちの教育と安全教育

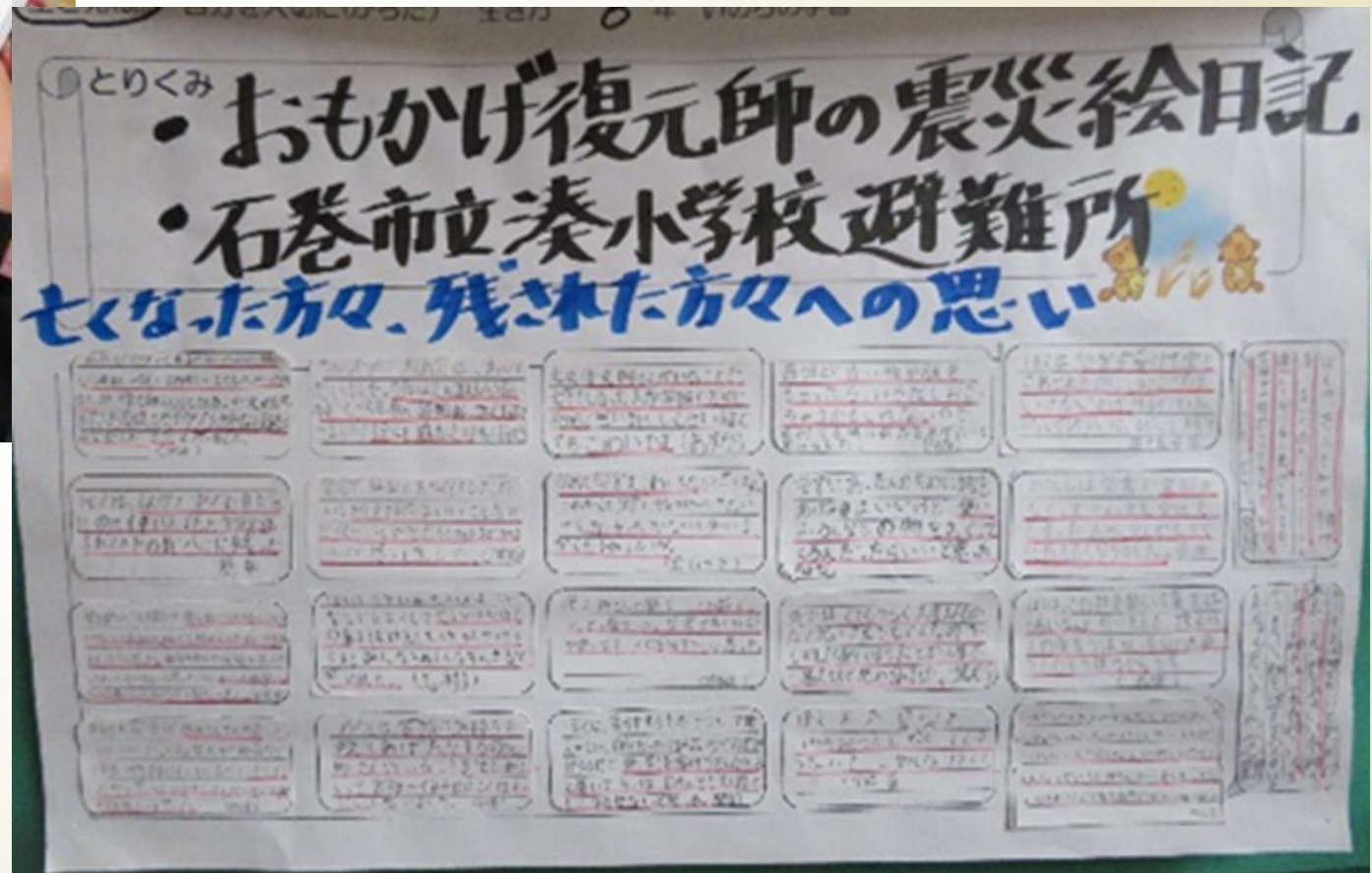
6学年年間計画

総合	新庄の未来を考えよう～循環型社会をめざして～ (28) ○ 環境、福祉に関わる新庄市の取り組み(新庄方式)等を調べ、未来への提案をしていく。 ○ 学校全体で取り組んでいるリサイクルシステムについて調べ、家庭・地域へ発信する。(たい肥作り) ○ 福祉について考える。						
	○ 情報教育			○ 運動会に向けて(4)	○ 修学旅行に向けて	○ 閉校記念式に向けて(5)	
	0	5	11	7	12	12	
外国語	○Let's Start 1 This is me.	2 1 This is me. 2 Welcome to Japan.	4 2 Welcome to Japan. 4	4 2 Welcome to Japan. 4 4 What do you want to watch?	4 3 What do you want to watch? 2 ○世界の友達1 4 My summer vacation.	4 5 He is famousu.She is great. 1 8	
	0	4	8	6	13	6	
学級活動	○火災の防止と安全な避難方法を知ろう ○6年生になって ○知能テスト	1 3 1	○むし歯を予防しよう	1 ○不審者対応について知ろう ○1学期の生活を振り返ろう	1 1 ○係を決めよう ○運動会に向けて ○修学旅行に向けて	1 ○閉校記念式を成功させよう 1 1 2	
	0	5	1	2	5	2	
道徳	A個性の伸長 「自分らしく」 C国際理解、国際親善 「幸せをいのちで織るじゅうたん」 B友情、信頼 「ひとみと厚」 C規則の尊重 「どんな心が見えてきますか」	1 1 1 1 1	Dよりよく生きる喜び 「小川笙船」 A勤労、公共の精神 「マザー・テレサ」 A善悪の判断、自律、自由と責任 「移動教室の夜」 B親切、思いやり 「温かい行為がうまれるとき」	1 1 1 1 1	○伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 「古きよき心」 D自然愛護 「チョモランマ清掃登山隊」 B礼儀 「心にふく風」 D生命の尊さ 「折り鶴にこめられた願い」	1 1 1 1 1 1 1 1 1	C家族愛、家庭生活の充実 「はじめてのアンカー」 D生命の尊さ 「命を見つめて」 A真理の探究 「光をともした『魔法の薬』」 B感謝 「こだわりのイナバウアー」
	0	4	4	4	6	4	
学校行事 児童会活動	新任式・始業式 プール清掃	1 2	身体測定	1 全校ウォークラリー	3 修学旅行 運動会総練習 運動会 マラソン大会	12 相撲大会 3 閉校記念式 5 1	
	0	3	1	3	21	6	
クラブ	0	0	3	2	4	3	
合計	0	83	119	110	185	116	
		こころ・いのちの教育関連教材		プログラミング教育関連教材			



総合：おもかげ復元師の震災絵日記

道徳：石巻市立湊小学校避難所



学級活動：自分の好きなところを見つけよう

事例4における校長としてのかかわり

各学年の年間計画において、「いのちの教育」を重点的に位置付けることを指示したこと

児童や職員に対して最終目標は「自分の命は自分で守る」であることを伝え、各学年や児童会の具体的な実践につながるよう働きかけをしたこと

具体的な実践事例5 修学旅行と安全教育

東松島市震災復興伝承館



震災遺構仙台市立荒浜小学校



高田松原津波復興祈念公園



石巻市震災遺構大川小学校



事例5における校長としてのかかわり

修学旅行と総合的な学習の時間を関連させ、震災学習の機会となるよう関係職員とともに検討したこと

旅行業者に震災学習の目的を説明し、見学や体験が可能な場所の選定を依頼したこと

研究の実際 2

地域連携・職員研修により
安全教育を推進した実践



具体的な実践事例 1

行政・関係機関との連携と職員研修

平成30年8月の豪雨災害

→自治体あげての防災強化

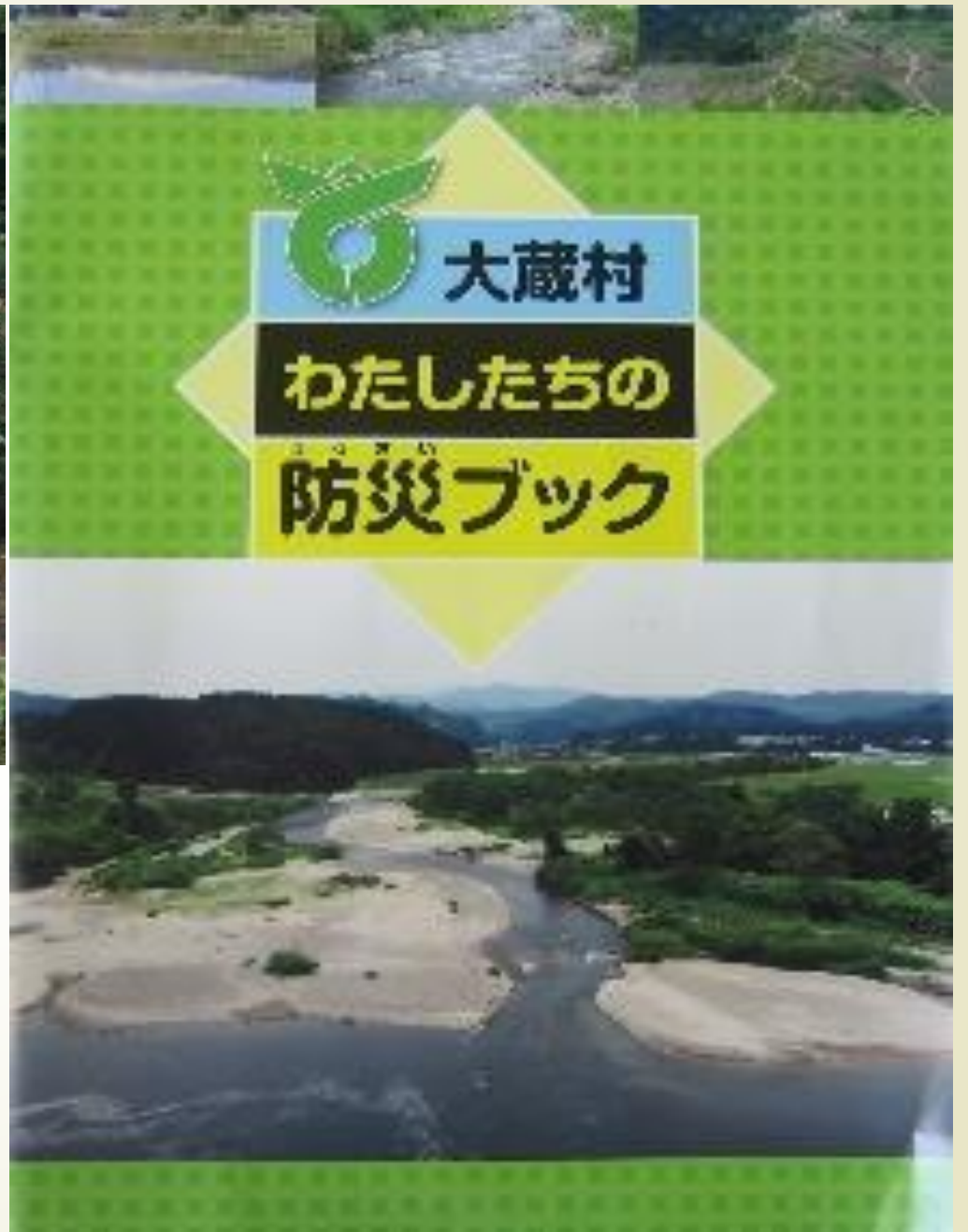
→関係機関が連携して防災ブック作成



教職員



村内各地で土砂崩れが発生。
村全域が停電し断水した地区
もあった。



令和2年度「大蔵村 わたしたちの防災ブック」活用計画（主に社会科・理科で） Ver.1.2

目次	3年	4年	5年	
大蔵村のすがた	社会 わたしのまちみんなのまち			
山形県や大蔵村が今のかたちになるまで				理科 大地のつくりと変化
わたしたちの大蔵村—各地区の特色	社会 わたしのまちみんなのまち			
第1章 大蔵村の土地のつくりと銅山川				
1-1 上流域のすがた		理科 地面を流れる水のゆくえ	理科 流れる水のはたらき	理科 大地のつくりと変化
1-2 中流域のすがた		理科 地面を流れる水のゆくえ	理科 流れる水のはたらき	
1-3 下流域のすがた		理科 地面を流れる水のゆくえ	理科 流れる水のはたらき	
1-4 肘折火山の活動と地形				理科 大地のつくりと変化
第2章 大蔵村のくらしのあゆみ				
2-1 最上川の舟運と大蔵村				社会 日本の歴史
2-2 大蔵村の鉱山				社会 日本の歴史
2-3 農地をひらく		社会 きょう土のはってんにつくす		
2-4 大蔵村の農産物と特産品	社会 はらくんとたけのこのくらし			
第3章 大蔵村と自然災害				
3-1 大蔵村で起きた自然災害			理科 台風と気象情報	
3-2 銅山川流域に土砂災害や水害が多い理由		理科 地面を流れる水のゆくえ	理科 流れる水のはたらき	
3-3 銅山川流域に多い地すべり			社会 自然災害を防ぐ	
3-4 地震と火山噴火のしくみ				理科 大地のつくりと変化
第4章 自然災害からいのちを守る				
4-1 自然災害を防ぐための施設1		社会 自然災害からくらしを守る	社会 自然災害を防ぐ 理科 流れる水のはたらき	
4-2 自然災害を防ぐための施設2		社会 自然災害からくらしを守る	社会 自然災害を防ぐ	
4-3 危険な場所を知る・最新の災害情報を手に入れる		社会 自然災害からくらしを守る	社会 自然災害を防ぐ 理科 台風と気象情報	
4-4 災害の注意報や警報、避難場所などの意味を知る		社会 自然災害からくらしを守る	社会 自然災害を防ぐ 理科 台風と気象情報	
4-5 ふだんからの準備・いざというときの避難		社会 自然災害からくらしを守る	理科 台風と気象情報	

さらに、令和2年7月末の豪雨災害

これまでの防災への取り組みが生かされたか？

▲スムーズでなかった対応の検証

※道路の寸断・通行止めで学校から
帰宅できなくなった一部の子ども

※避難所に着替えが全くない。

→学校常備へ

※小中学校が避難施設となった。

→職員の避難所業務への理解度

▲9月の訓練→コロナ状況悪化で中止



具体的な実践事例2 危機マニュアル等の 見直しと職員研修



市教育委員会との連携

市教委 ~ 平成31年4月完成

「大規模災害時学校施設避難所開設要領」

※学校施設の維持・管理

学校職員が解錠→避難所運営の市職員へ

→開設中の施設設備の維持管理・施錠→学校へ

危機管理マニュアルの随時更新



浸水想定・土砂災害警戒区域に立地する
学校への義務づけ

避難確保計画策定



計画に基づく避難訓練の計画・実施



非常災害時＋その他の緊急危機対応・マニュアルの見直し



マニユアル

令和3年8月改訂版

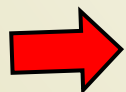
非常災害時＋その他の緊急危機対応マニュアルの見直し

4 その他、本校で想定される危機事象

危機事象		想定される事態（例）
生活安全	疾病の発生	熱中症、体育授業中・休憩時間中の外傷等
	犯罪被害	不審者侵入、不審者による声掛け、学校への犯罪予告等
	食物等アレルギー	給食・教材等によるアレルギー、アナフィラキシー
	食中毒・異物混入	学校給食による食中毒、学校給食への異物混入
交通安全	自動車事故	通学路上の自動車事故、スクールバスの事故
災害安全	強風、突風・竜巻・雷	飛来物、停電、落雷、家屋倒壊等
	豪雪	大雪による交通寸断、停電など
	火災	校内施設からの出火、近隣火災からの延焼
その他	熊・イノシシ等の野生動物	野生動物等による外傷、器物損壊等
	感染症・大気汚染	新型コロナウイルス感染症、麻しん、結核等の感染症 光化学物質等
	情報	インターネット上の犯罪被害

マニュアルの
見直し・更新
＝職員研修・参
画意識

実際に起こった事案に照らし、随時マニュアルの見直しを検討し更新する。



学校職員の一員としての危機対応への主体的な参画を促進

事例 1, 2 における校長としてののかかわり

行政・関係機関との連携を図り、防災ブック作成や巡回研修に職員をかかわらせることで、職員研修に結びつけたこと

行政に働きかけ、危機管理マニュアル等の見直し・更新をはかることで、職員研修に結びつけたこと

研究の実際 3

子ども主体の活動を通して自らの命を守る安全教育の実践例

具体的な実践事例1 子どもとともに行う安全点検

安全点検 管理棟 6月15日 13時20分

点検者名
Aグループ 5,6年 1,3組

巡回場所	点検印	気付いたこと	巡回場所	点検印	気付いたこと
1 管理棟・女園			体育館	○	モップ
玄関	○	靴の跡、掃除機	放送室	○	
風球室	X ok	ほうき、掃除機	1階トイレ	○	
玄関前ホール	X ok	掃除機、ゴミ	2階トイレ	○	
バス持ち室	○		ビロティ	○	かみそり、タオル
図工室	○	いす、ラゴン			
2 図書棟					
学習室1	○				
学習室2	○	たばこ			
学習室3	○				
第1理科室	○				
第2理科室	X	掃除機、ゴミ			
第1音楽室	○				
第2音楽室	○				
相談室					
理科室トイレ	○				
図書学習室	○	ついでにい、かみそり、タオル			
図書室トイレ	○				
家庭科室	○	ゴミ			
外国語教室	○				
ランチルーム	○				

全体を通して気が付いたこと

・細かいところを気にすると、たくさん気づかないところが出てきた。
 どうしても対策がやりにくいところがあるため、できることは積極的に対策をしたい。
 ・特に、ものの置き方は注意してほしい

☆点検ポイント

- ①こわれているところはないか。
- ②けがをしそうなところはないか。
- ③災害時にひびく人や対応のさまたげになるものはないか。

点検印	
担当の先生	数頭先生
(印)	(印)



2021 07 03



事例1における校長としてのかかわり

安全教育にかかわって、子ども主体の活動を行うことの必要性を説明し、担当者と話し合い、思いを共有したこと

安全点検の信頼性を高めるため、教職員と子ども双方の目で行う必要性を職員に説明したこと

具体的な実践事例2

今ある組織を活用した安全教育

登校班長会

- ・登下校の様子を登校班ノートに記録

町内子供会

- ・町内や通学路の危険箇所を確認
- ・「こども110番」の設置個所の確認

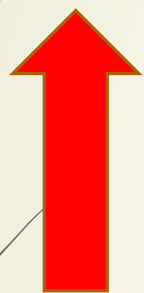


危険を発見する目

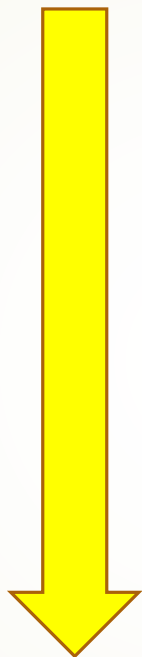


通学路や家庭生活における
危険の発見と回避行動

子ども主体の活動に取り組むことが難しい



既存組織の活用



先進校の事例



校長からの働きかけ

〈成 果〉

- 校長が学校経営の中に、安全教育・いのちの教育の目標を明確に位置づけ、カリキュラム・マネジメント表を活用することによって、年間を見通した安全教育を実施することができた。
- 洪水による浸水や河川の氾濫等の災害の経験から、自治体や教育委員会との連絡系統、緊急時における施設の運用、職員の動き等、校長・学校の役割を明確にすることができた。
- 自ら判断し行動できる子どもを育てるには、教職員中心の安全教育だけではなく、子どもたちが考え実践していく場を設定していくことの重要性を再認識することができた。

〈課 題〉

- 校長として、さらにカリキュラム・マネジメントを進めていき、災害の多様化に対応できる安全教育を進めていく必要がある。
- 今後も関係機関や地域との連携を重視し、地域の実態に応じた安全教育を計画的に教育課程に位置づけて指導していく必要がある。
- 子どもたちが主体的に活動するための課題を整理し、校長としての役割を明確にして、実践に結びつくよう計画していく必要がある。

御清聴ありがとうございました。

